

2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年4月8日

上場会社名 株式会社コジマ

上場取引所 東

コード番号 7513 URL <https://www.kojima.net/corporation/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 一義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画本部長 (氏名) 荒川 忠士

TEL 03-6907-3113

四半期報告書提出予定日 2020年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止いたします。なお、代表取締役会長兼社長による四半期決算説明の動画配信を予定しております。)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第2四半期の業績(2019年9月1日～2020年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	133,295	3.2	1,680	△29.4	1,803	△33.1	1,104	△54.7
2019年8月期第2四半期	129,113	8.9	2,382	76.7	2,695	77.8	2,434	169.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	14.22	14.22
2019年8月期第2四半期	31.25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	108,135	49,040	45.3
2019年8月期	109,335	48,681	44.5

(参考)自己資本 2020年8月期第2四半期 49,032百万円 2019年8月期 48,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	274,000	2.2	2,600	△59.5	2,700	△62.3	1,800	△72.7	23.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期2Q	77,912,716 株	2019年8月期	77,912,716 株
② 期末自己株式数	2020年8月期2Q	300,919 株	2019年8月期	300,919 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期2Q	77,611,797 株	2019年8月期2Q	77,911,797 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

(四半期決算説明内容の入手方法について)

当社ウェブサイトにて、四半期決算説明の動画配信を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(持分法損益等)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2019年9月1日から2020年2月29日まで)におけるわが国経済は、期の半ばまで景気が緩やかに回復しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では状況が大幅に下押しされております。高い水準にあった企業収益、および、改善傾向にあった雇用情勢や個人消費は、感染症による影響で、先行きは厳しい状況が続くと見込まれます。

当家電小売業界における売上は、当第2四半期累計期間では消費税増税前の駆け込み需要が顕著に生じたこと等により、テレビ、冷蔵庫や洗濯機が好調だったほか、OS(Windows7)のサポート終了に伴う駆け込み需要が生じたパソコン等も好調に推移し、一方、ゲーム、スマートフォンやデジタルカメラ等が低調に推移しました。足下では消費税増税後の反動減が依然として残るほか、新型コロナウイルス感染症の影響が生じております。

このような状況の中、当社は、「お客様第一主義を実践し、最高のサービスをお客様に提供することで社会に貢献する」の経営理念のもと、「お客様の暮らしを『より快適に』『より便利に』『より楽しく』します。暮らし応援コジマ」をスローガンに掲げ、ビックカメラとの統合効果を最大限に発揮し、企業価値の向上に取り組んでおります。

ビックカメラグループの幅広い取扱い商品を強みに、品揃えの拡充や専門性の向上に取り組み、モノからコト軸への提案を進め、更にお客様に体験価値や満足感を感じていただける展示・接客の充実を努めております。2019年10月12日に「コジマ×ビックカメラ 梶ヶ谷店」で腕時計の販売を開始し、11月2日に「コジマ×ビックカメラ 卸団地店」で酒類の販売を開始しました。これまで好評をいただいている店頭イベント「ミニ四駆大会」において、全国各地の予選会など、のべ1万人以上のお客様にご参加いただき、11月24日に「コジマ×ビックカメラ 静岡店」で「全国大会決勝戦 コジマ グランドキングカップ」(コジマ主催)を開催しました。これらの取り組みにより、店舗の更なる魅力度向上に努めております。

また、掃除機、調理家電など、生活シーンに合わせた快適性を体感いただける「ライブ販売イベント」の充実や、デジタル商品の買取や購入後のサポートを充実させた「サービスサポートカウンター」の設置店舗拡大に努めております。社員が直接お客様宅を訪問し困り事を解決する「コジマ暮らし応援便」の対象エリア拡大・サービスメニュー拡充など、コジマ独自の試みにより、地域の皆様からもっとも身近に親しまれ必要とされる店舗づくりに取り組んでおります。

さらに、2019年10月にヤフー株式会社が新たにオープンしたインターネット通販サイト「PayPay モール」へ出店し、2020年1月からコジマネットにおいて、新たな決済サービス「楽天ペイ」を導入しました。店舗においては、2019年10月に65歳以上のお客様を対象として、新たなポイントカード「アクティブ65倶楽部」を発行し、ポイントアップ特典を付与するなど、サービスを充実しました。これらの取り組みにより、お買物がもっと便利になる仕組みづくりも進めております。

店舗展開におきましては、2019年11月16日に「コジマ×ビックカメラ ワンズモール稲毛店」(千葉県千葉市)を開店した一方、「久喜店」(埼玉県久喜市)を閉店し、スクラップ&ビルドを進めました。このほか、「伊勢崎店」を同市内に移転、12月21日に新たに「コジマ×ビックカメラ スマーク伊勢崎店」(群馬県伊勢崎市)を開店し、2020年2月末現在の店舗数は142店舗となりました。

また、ご来店いただいたお客様の声を店舗づくりに反映し、更なる進化を目指すとともに、異業種とのコラボ店舗など、新たな店舗モデルの構築や出店形態の多様化に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,332億95百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は16億80百万円(前年同期比29.4%減)、経常利益は18億3百万円(前年同期比33.1%減)、四半期純利益は11億4百万円(前年同期比54.7%減)となりました。なお、当期から株式会社ビックカメラ及びグループ会社への役員提供等に係る費用負担が発生しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ11億99百万円減少（前事業年度末比1.1%減）し、1,081億35百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加7億5百万円、売掛金の増加3億73百万円があったものの、商品の減少10億71百万円、差入保証金の減少5億99百万円、繰延税金資産の減少5億8百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ15億58百万円減少（前事業年度末比2.6%減）し、590億95百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加24億円があったものの、買掛金の減少37億13百万円によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ3億59百万円増加（前事業年度末比0.7%増）し、490億40百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当（純資産の減少）7億76百万円があったものの、四半期純利益（純資産の増加）11億4百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び預金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ7億5百万円増加し、26億65百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は7億39百万円（前年同四半期は68億83百万円の使用）となりました。これは主に、税引前四半期純利益16億76百万円、たな卸資産の減少10億91百万円があったものの、仕入債務の減少37億13百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5億37百万円（前年同四半期は15億61百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5億82百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は19億81百万円（前年同四半期は89億20百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出12億70百万円、配当金の支払額7億73百万円があったものの、短期借入金の増加24億円、長期借入れによる収入18億円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2019年10月9日の決算発表時の予想を変更しております。詳細につきましては、本日2020年4月8日に公表いたしました「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959	2,665
売掛金	12,158	12,531
商品	45,872	44,800
貯蔵品	204	184
前払費用	1,130	1,240
未収入金	2,049	2,122
その他	820	689
貸倒引当金	△205	△207
流動資産合計	63,989	64,027
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,560	9,435
土地	8,795	8,795
その他（純額）	1,599	1,625
有形固定資産合計	19,956	19,857
無形固定資産		
その他	864	914
無形固定資産合計	864	914
投資その他の資産		
前払年金費用	2,221	2,261
繰延税金資産	8,693	8,185
長期前払費用	600	554
差入保証金	12,747	12,147
その他	316	242
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	24,525	23,335
固定資産合計	45,345	44,108
資産合計	109,335	108,135

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,999	12,286
短期借入金	5,100	7,500
1年内返済予定の長期借入金	2,376	2,521
リース債務	303	216
未払金	4,570	4,878
未払法人税等	698	344
前受金	4,064	3,671
賞与引当金	975	943
ポイント引当金	2,000	1,976
店舗閉鎖損失引当金	260	180
資産除去債務	66	408
その他	1,819	2,272
流動負債合計	38,236	37,198
固定負債		
長期借入金	14,336	14,721
リース債務	622	536
商品保証引当金	708	600
店舗閉鎖損失引当金	741	705
資産除去債務	4,420	4,078
その他	1,587	1,254
固定負債合計	22,418	21,896
負債合計	60,654	59,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,975	25,975
資本剰余金	15,913	15,913
利益剰余金	6,971	7,299
自己株式	△155	△155
株主資本合計	48,704	49,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23	—
評価・換算差額等合計	△23	—
新株予約権	—	7
純資産合計	48,681	49,040
負債純資産合計	109,335	108,135

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
売上高	129,113	133,295
売上原価	94,747	97,230
売上総利益	34,366	36,065
販売費及び一般管理費	31,984	34,384
営業利益	2,382	1,680
営業外収益		
受取利息	36	30
受取配当金	4	1
受取手数料	54	21
受取保険金	41	82
補助金収入	145	50
店舗閉鎖損失引当金戻入額	82	—
その他	46	23
営業外収益合計	412	209
営業外費用		
支払利息	72	55
支払手数料	10	13
その他	16	17
営業外費用合計	99	86
経常利益	2,695	1,803
特別利益		
固定資産売却益	11	0
特別利益合計	11	0
特別損失		
投資有価証券売却損	—	21
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	142	20
リース解約損	4	0
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	85
特別損失合計	146	127
税引前四半期純利益	2,560	1,676
法人税、住民税及び事業税	125	74
法人税等調整額	—	497
法人税等合計	125	572
四半期純利益	2,434	1,104

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,560	1,676
減価償却費	940	829
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△124	△32
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	6	△24
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△182	△108
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△230	15
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△16	△39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	1
受取利息及び受取配当金	△41	△32
支払利息	72	55
固定資産売却損益 (△は益)	△11	△0
固定資産除却損	142	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△837	△373
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,796	1,091
仕入債務の増減額 (△は減少)	△487	△3,713
その他	△1,397	364
小計	△6,415	△268
利息及び配当金の受取額	7	3
利息の支払額	△71	△55
法人税等の支払額	△403	△418
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,883	△739
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	80
有形固定資産の取得による支出	△1,918	△582
有形固定資産の売却による収入	76	0
その他	280	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,561	△537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,500	2,400
長期借入れによる収入	13,600	1,800
長期借入金の返済による支出	△7,956	△1,270
リース債務の返済による支出	△222	△174
配当金の支払額	—	△773
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,920	1,981
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	475	705
現金及び現金同等物の期首残高	1,760	1,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,236	2,665

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社には、音響映像商品・家庭電化商品・情報通信機器商品等の物品販売業部門以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

品目別売上高

品目別		当第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)		
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比増減率 (%)
音響映像商品	カメラ	3,359	2.5	0.2
	テレビ	11,487	8.6	19.2
	レコーダー・ビデオカメラ	3,398	2.6	3.2
	オーディオ	2,331	1.8	11.8
	その他	3,391	2.5	9.0
	小計	23,968	18.0	11.6
家庭電化商品	冷蔵庫	10,184	7.7	15.2
	洗濯機	9,483	7.1	7.4
	調理家電	8,446	6.3	2.7
	季節家電	11,942	9.0	△6.6
	理美容家電	7,230	5.4	7.9
	その他	12,027	9.0	4.3
	小計	59,314	44.5	4.2
情報通信機器商品	パソコン本体	11,617	8.7	29.5
	パソコン周辺機器	4,620	3.5	11.7
	パソコンソフト	532	0.4	32.0
	携帯電話	10,778	8.1	△25.6
	その他	8,434	6.3	△0.8
	小計	35,983	27.0	△1.4
その他の商品	ゲーム	4,584	3.5	△7.3
	時計	324	0.2	7.8
	スポーツ用品	638	0.5	22.9
	玩具	1,635	1.2	△3.9
	医薬品・日用雑貨	811	0.6	△5.2
	工事(住設含む)	2,317	1.7	3.6
	その他	2,727	2.1	2.4
	小計	13,039	9.8	△1.4
物品販売事業		132,307	99.3	3.3
その他の事業		988	0.7	△2.0
合計		133,295	100.0	3.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。